

2015年度

子どもニュース

No. 23

2016. 3. 9 発行

金城学院幼稚園

まだ寒い中でしたが3月1日お別れ遠足の日、大学構内でいっぱい楽しんできました。その間に、父母の会大掃除をご計画くださりありがとうございました。ぴかぴかになった幼稚園に戻り、自分のクラス以外の場所を選び美味しくお弁当をいただきました。

校舎建て替え工事のため遠足とは言えない距離でしたが、行先は第2駐車場北側の雑木林と、幼稚園北側の池に面した雑木林―通称ペンギン山―でした。

ペンギン山には4月の園庭ワークで白石先生お父さんたちが作り替えてくださったミニモンキーブリッジとやぐらがありますが、後は自然が遊具。木登りをしたり落ち葉を掛け合ったり、一列に並んだドングリは“リスが並べた？”とか、捨てられた土鍋を見つけ“ここで暮らしている人がいる？”“鍋パーティーをした？”木肌にびっしりと生えた苔を触り“じゅうたんみたいな感じ”また年長さんの一人が、キャンプの時仕掛けたかぶと虫やクワガタ虫の仕掛け場所を見つけました。暫くの間、キャンプの楽しい思い出話になりました。そんなこんなで寒さも忘れ、楽しい発見、ふしぎ発見、思い出発見、子どもたちは次々と遊びを見つけて堪能しました。

寒くても自然が与えてくれる楽しさは私たちを夢中にさせてくれます。知らないうちに身体を温めてくれる。身体機能を活発にし丈夫な体を作ってくれる。そして何よりも友達と楽しさやわくわく感を共有することで心がぼかぼかになる。人間の手で造られたゲームやおもちゃでは味わえない、いわば無添加の味わいなのではないでしょうか。

神様が天地創造の時与えられたものばかりです。いつまでも子ども達のもとから奪ってはいけない大切なものです。大人が守っていかなくてはとつくづく思いました。

子どもニュースもあと2回発行を残すのみとなりました。今までのご愛読に感謝いたします。今回は集まりでの活動を中心にお伝えいたします。

今週3月11日には東日本大震災から5年が経過します。自然災害を恐れつつも、尚、私たちは自然と共に生かされています。原発被害の地区で一日も早く子どもたちが安心して自然と戯れる事が出来ますように。

忘れてはいけないこの日、被災された方々を覚え祈りましょう。

馬淵宣子

年少あつまり



3学期も残すところあとわずか……。そんな中、今年度最後のあつまりが終わってしまいました。「今日で年少のあつまりは最後だよ！」という言葉に、「え～！！」の大合唱をくれた年少さんたち。その反応から、子どもたちにとってあつまりの時間が、楽しいものであったことが伝わってきます。

そんな年少あつまりでは3学期も、様々なことに挑戦してきました！

聖話

クリスマスを前にイエスさま誕生のお話を聞いた年少さん。3学期にはその後のイエスさまがどのような生涯を過ごされたかを話しました。十字架に掛けられ、その後の復活までを話し終えると、「もっと聞きたい！」という声が子どもたちから上がったことがとっても嬉しかったです。イエスさまの復活の本当の意味が子どもたちに伝わっていればいいな、と思います。

おもいで



この一年間で描いた絵を『おもいで』としてまとめ、終業礼拝の日に持ち帰ります。そして、はじき絵と切り紙がその表紙となります。

2学期にもあつまりの中やアドベントカレンダーで切り紙を経験した子どもたち。そこで、ちょっと違う紙の折り方も提案しながら、より細かいものにチャレンジしました。「見て見て！ こんな形になったよ！」「なんだかお花みたい!!」と、マスターした切り紙を楽しむことができました。

はじき絵では、いっしょにあそぼうの日の直後だったこともあり、遊んでいる絵を多くの子どもたちが描きました。「〇〇して遊んだの!」と思いつきながら、しっかり塗り込んで絵を描き上げました。そして、自分の好きな色を選んでのはじき絵をしました。クレヨンで描いた絵を避けるようにして絵の具を塗っている子に、上から絵の具を塗っても色がつかないことをやってみせると「なんで!?!」と不思議そうな顔をしていました。

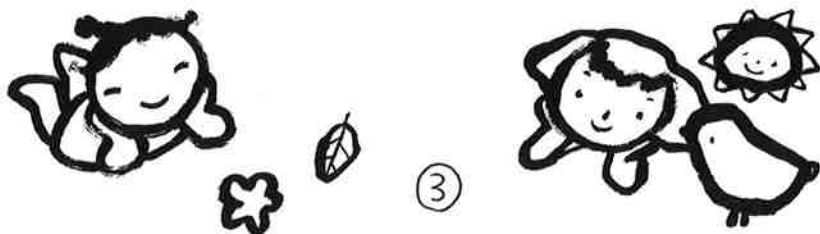
また、今の年少さんの姿を残そうと、手形にも挑戦しました。絵の具の感触を手全体で楽しみながら、今の年少さんの手の大きさを残してみました。年中さん年長さんになったときに、ぜひ手の大きさを比べてみてください。

『おもいで』を下から順に見ていただくと、子どもたちの絵や心身の成長が伝わってきますよ!

お別れのことば

最後に一年間、お世話になった年長さんに感謝の気持ちを伝えようとお別れの言葉を考えました。「お世話してくれて、ありがとう」「いっしょにお弁当食べてくれたよ!」「遊んだ!」と年長さんへ伝えたい“ありがとう”を元気よく話してくれた年少さん。と、同時に今度は自分たちが年中さんになるんだという嬉しさをキラキラした眼をしていました。

他にも、楽器や外遊具などにも挑戦しました。あつまりを通して、普段の遊びの中ではやらないことにチャレンジすることができ、子どもたちの興味の広がりのきっかけになれば良いなと、思っています。





クッキング

2学期に行った保育参加&3学期のクッキングへの参加ありがとうございました。子どもたちにとっておうちの方が園に来てくれることはちょっと嬉しいかしくもあり、嬉しい一時であったと思います。



第2回クッキングでの様子をお伝えします！

年少さんは、バザーの看板、クリスマスのおうちの方へのプレゼント、そして普段の遊びの中で、「おだんご」の経験を繰り返してきました。今回はその経験をいかし、スイートポテトを作りました。さつまいもをつぶして、豆乳を混ぜて…それを手のひらに乗せコロコロと転がしました。「みてみて！ どう、上手でしょ☆」「もうちょっときれいにする！」「こんなの簡単！」みんな丸めるのはおてのもの!!! きれいな丸になったらカップに入れてオープンへ。翌日、年長さん年中さんと一緒にいただきました。この1年間憶えてきた「当番」も経験できました。「どこくばるの?」「もう一回やる！」来年に向けて気合十分です。まだまだ年中・長児のように上手ではないけれど、この一年間よく見ていたんだなあ…と感じさせてくれました。

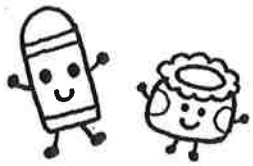
4月になったら、年中あつまりがあることを伝えると、「やったー！」と嬉しそうな様子を見せてくれた年少さん。この年少さんたちがどのような年中さんになるのか、今から楽しみです。

ゆかへ
あきこ。

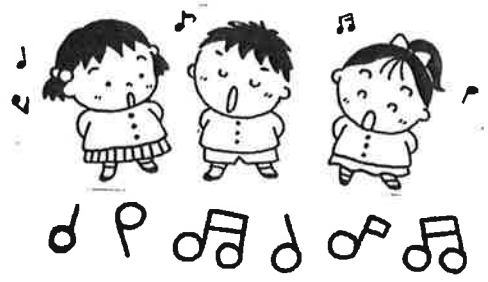




ねんちゅう



あつまり

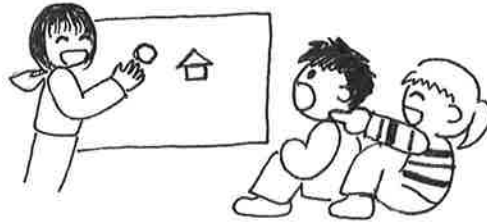


年長さんへのプレゼント

聖書カバー作り

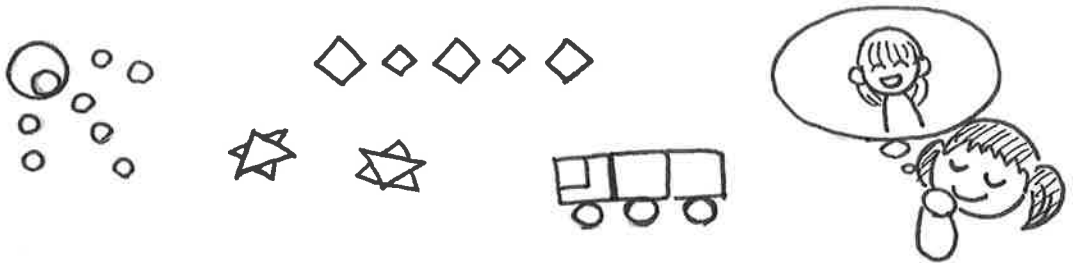
年中のあつまりで、もうすぐ年長さんは小学校へ行く話しをし、「たくさんの感謝の気持ちを伝えたいね」という事になりました。年長さんは卒園記念に聖書を頂くので、『聖書カバー』を作ることを提案すると、「いいねー！！」と返ってきました。

さっそくパネルシアター(起毛素材の布を貼った板)に素材のフェルトを貼って作り方を提示すると、「わ！！くっついた」「魔法かな～？笑」とワクワク♪



○・△・□ の形と、大・中・小の大きさと、たくさんの色のフェルトを使えることが分かり、「すごーい！やりたい！！」とソワソワ☆

そして、この形を組み合わせることにより、様々なものが表現できる事・幾何学模様になることを伝えると、「面白そう！！早く作ろうよ！！！」と大興奮[♪]。



子どもたちは、プレゼントしたい年長さん達を思い浮かべながら心を込めて作りました。一人ひとり作りたい形のイメージを持ち、独創的な構成をし、丁寧にボンドで貼っていました。それぞれの個性が出てユニークな作品が出来ましたよ！！

年長さんには「まだ内緒♪」でしたが、作っている姿でバレバレ(笑)

「どの聖書カバーがもらえるんだろう？」と横目でチラチラ楽しみにしている様子でした！カバーをつけた聖書は卒園式の日にお渡しします。お楽しみに！！

(渡す相手は子ども達と相談して決めました。今年は年長児よりも年中児の数が多いため、渡す相手に保育者が含まれています。)



スペシャルおやつ第2弾！！



年中のみんなで「りんごの米粉ケーキ」を作りました！

「みんなでおいしいケーキ作って食べたいね」

「やりたい！やりたい！」

「おうちでも作ったことある！」

と、張り切る年中さん。有志のおうちの方々と一緒に楽しく作りました。

作り方はいたって簡単！粉と豆乳を混ぜ、りんごをのせて焼く！というもの。しかし、その中で今の年中さんにどんな経験をしてもらいたいのか、そこを明確にしていく事が大切です。

- ・粉を量ることを通して、数字に興味を持ち重さを知っていく事

- ・リンゴを切ることを通して、包丁の使い方を知る事

- ・リンゴを入れることを通して、お箸をスムーズに使えるようにする事

米粉を量り、アーモンドパウダー・ベーキングパウダーを混ぜ、豆乳を入れてクリーム状にします。1cm角に切ったリンゴをお箸でつまみ、カップに入れて焼く。これらの経験を織り交ぜて作りました。

「作ってくれてありがとう」

「おいしいよ」

などと言ってもらえ、食べてもらうことの喜びも経験できました。



いよいよ年長さん



年中あつまり最後の日、年長さんへの気持ちをみんなが話してくれました。

「いつも いっしょにいてくれて ありがとう」

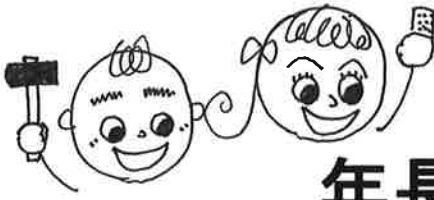
「つくれないものをつくってくれて ありがとう」

「くりすますのさんびれいはい すてきだったね」

などなど、ありがとうと、憧れの言葉でいっぱいでした。そんな言葉を聴きながら、今度は自分たちもそんな風に言われる年長さんになりたい！と言う気持ちが伝わってきました。

いよいよ年長さん！どんな年長さんになってくれるのか、とっても楽しみです！

<Chika>



年長あつまり



イス完成～！！

この一年、年長さんは様々な活動に取り組んできました。その中でも3学期、特に時間をかけて取り組んできたのが『イス作り』。年中、もしかしたら年少の時からイス作りを楽しみにしてきた子どもが多かったのではと思います。年長さんが年少・年中の頃、出来上がったイスをじっと見て年長さんに「座る？」と聞かれ、嬉しそうに座らせてもらっている姿を思い出しました。年長さんにとって憧れだったイス作り。

イス作りは、ボンド付け→釘打ち→ボンド付け→釘打ちの繰り返しです。その工程をクリスマスプレゼント作り同様、作る日のスケジュールが書いてあるカレンダーを見て、いつ作るのか自分で生活を組み立てながら行いました。クリスマスプレゼント作りの時にはカレンダーを見ることや作ることを忘れてしまう子どもいましたが、今回のイス作りではカレンダーを欠かさずチェックし、作る意識をしっかり持ち取り組むことができました。クリスマスプレゼント作りでの経験が本当に生かされました。

ボンド付けでは「いつもはボンドをうす～く伸ばすけど、イスではちょっとたっぷりめだね」と言いながら塗って行きました。しかし、ついいつものように薄く塗ってしまい“ポロツ”と取れてしまうことも・・・。

釘打ちではなんと！！50本の釘を打ちました！！初めは打ち方に癖があり釘が曲がってしまう子どもが多かったのですが、何本も打つうちに少しずつまっすぐ打てるようになっていきました。

最後にヤスリがけ。もしかしたら一番苦労したのはヤスリがけかも？！しれません。時間がかかるはずなのにすぐに「できた！」と見せにきたり、また他のことが気になって集中できなかつたり、

友だちと話しながら行っていて、ずっと同じ箇所ばかりヤスリをかけていたり、本当に時間がかかりました。その頑張った分だけイスもすべすべになりました！！完成した時には「やっと終わった〜！」と安堵した子どもたちの表情が印象的でした。

本当に何日間もかけて作った世界に一つしかないイス。一つ一つよく見ると、木が斜めになっていたり、カタカタ動いたり完璧ではありませんが、子どもたちが一生懸命作った味のあるイスに仕上がりました。ヤスリをしっかりとかけましたが、床に傷がつかないように工夫をして頂けると良いと思います。子ども達はその自分のイスに座り卒園式に参加します！！

(あき)

